

<http://salaryman-life.blogspot.jp/2011/05/vmware-esx.html>

<http://tech2solution.blogspot.jp/2010/12/you-may-not-power-on-virtual-machine-in.html>

基本的には、ESX 上に ESX を普通にインストールして良い。

ゲスト ESX のネットワークが繋がらない場合

解決策

ゲスト ESX が接続されているホスト ESX 上の仮想スイッチの設定で、プロミスクラスモードを許可する。

プロミスクラスモードとは

プロミスクラス・モード (promiscuous mode) とは、コンピュータ・ネットワークのネットワークカードが持つ動作モードの一つである。「プロミスクラス」は「無差別の」という意味を持ち、自分宛のデータパケットでない信号も取り込んで処理をすることを示す。

標準の状態においては、ネットワークカードは自分宛のパケットを受信したときにだけ、上位のシステムにその内容を通知するようになっている。例えば、イーサネット用のネットワークカードでは、自分の持つ MAC アドレス以外へ送信されたパケットを受信しても CPU に対し割り込みをかけず、それを処理しない。(ただし、ブロードキャストなどの例外がある。)

しかし、ネットワークカードにプロミスクラス・モードでの動作を指示しておけば、パケットの宛先に関わらずパケットの到着を上位のシステムに知らせるようになり、上位のシステムは自分宛のパケット以外のデータも全て処理することができるようになる。つまり、プロミスクラス・モードとした場合、そのノードへ届けられるパケット全てを無差別に受け入れるようになる。

この設定は、主にネットワークの管理・監視を目的として使用されるのだが、悪意ある者にとっては盗聴の手段となる。このため、上位のシステム(オペレーティングシステムなど)でプロミスクラス・モードにする手段は一般に公開されていなかったり、特権を持つユーザーしかできないようになっていることが多い。

なお、ネットワーク型の IDS を導入する際にも、トラフィックを監視する為にプロミスクラス・モードを利用する。

ゲスト ESX 上でゲストマシンを開始するとエラーが出る

```
YOU MAY NOT POWER ON A VIRTUAL MACHINE IN A VIRTUAL MACHINE
```

とエラーが出る場合は、ホスト ESX のデータストアにあるゲスト ESX の vmx ファイルを編集する必要がある。

```
monitor_control.restrict_backdoor="true"
```

をホスト ESX のデータストアにあるゲスト ESX の vmx に書き加える。